

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7 年 3月 11日

事業所名 えぶりクラブ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員は活動室スペースとの関係が適切である	10				
	2 職員の配置数は適切である	9	1			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10				
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	1		多職種で行っている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		1		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	2		病院機能評価を受け改善に繋げている	
	8 職員の資質の向上を図るために、研修の機会を確保している	10			研修を適宜行っている	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	9	1			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	1		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	1	保育士が中心となり立案し、製作とゲームなどバランスよく活動を行っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1			放課後と学校休業日に応じて、活動設定を行いそれに基づいた支援の提供を心がけます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成している	10				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	3			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	4	1	全職員での実施は難しいが、日誌などを活用しながら、職員間で共有している	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	1			記録はできていますが、今後は必要に応じて多職種と支援の改善を行っていきます。
18 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	10					
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	9	1				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9	1			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	2			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	8		感染症対策も含め、障がいのない子どもと一緒に活動する機会をもつことは現状は難しいが、状況に合わせ考えていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	1	2	必要に応じて参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	1		お迎えの時に活動内容や様子をご家族に直接お伝えしている	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3		7		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			利用前に説明を行い、個別に対応が必要な場合も対応している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			保護者からの相談には迅速な対応を心がけている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	7		感染症対策も含め、現在は保護者会の開催を行っていませんが、今後の状況に合わせ考えていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1			日々の連絡帳を活用し、情報の発信をしています。必要時はメールも活用しています。
	35	個人情報に十分注意している	10				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			10		感染症対策等により、事業所の行事に地域の方にもご参加いただく機会の確保はまだ難しい状況と考えています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	4	1		緊急時・防犯・感染症対応マニュアルは職員用は策定し対応していますが、家族に周知できていないため周知できるように進めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	8	2			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	1			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			ヒヤリハットがあった時は、カンファレンスを行い職員に対応など周知している	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 7年 3月 11日

事業所名 えぶりクラブ

保護者等数(児童数)

回収数 10

割合 66 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	いいえ	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10				フロアクッションになっているので、自走の車椅子が動きにくい。何か滑りのよいものを敷いて欲しい。	現状すぐに対応することは難しいですが、対応できる物があるか検討していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	2			・スタッフがどれだけ関わっているのか、正直わからない所もある。 ・以前の方が専門性があった。	1日の利用者の人数に合わせた職員配置で対応しています。今後も職員研修などを行い、専門的な療育活動、支援が提供できるように尽力します。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	1				
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	9	1				
	5 活動プログラム*1が固定化しないよう工夫されているか	8	1		1		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1		3	6	・障害のない子どもと活動する機会は難しいと思います。 ・個人的に感染症対策に関心もありませんが、色々な経験をさせてもらい、質の高い療育を受けれている。	感染症対策も含め、障がいのない子どもと一緒に活動する機会をもつことは現状は難しいですが、状況に合わせて今後検討していきます。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	3				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	3	1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	1	4		感染症の影響から保護者会の開催ができていない状況です。ニーズを確認し検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		2		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	1				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10					
14 個人情報に十分注意しているか	10						
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	2		3		緊急時・防犯・感染症対応マニュアルは職員用は策定し対応していますが、家族に周知できていないため周知できるように進めています。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5			5	・定期的に避難訓練をしているのは聞いているが、非常食の備えの確認はしたことがない。	定期的に避難訓練を行い、避難経路・場所の確認を行っています。非常食についても千葉リハセンターで常備されていますが、この事についての周知を行っています。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10				
	18	事業所の支援に満足しているか	8	2			<ul style="list-style-type: none"> ・おやつと1DAY時の給食を提供して欲しい。 ・書類関係は担当以外でも分かるように、スムーズに手続きできる体制にして欲しい。
							<ul style="list-style-type: none"> ・センターではおやつ提供は夕食を食べる方のみとなり、現状では難しい状況です。 ・1DAY時の給食提供は、利用者により食事形態が様々な事、アレルギーの面なども考えて、ご家族にお願いしています。 ・書類関係の手続きがスムーズに行えるように体制を整えていきます。

*1 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。